

◎ 展開する事業群(1-3-1)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(3)	仕事と子育ての両立支援
基本施策分野	①	仕事と子育ての両立を図るための支援策の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
☆11 ファミリー・サポート・センター事業の推進(☆)	○ファミリー・サポート・センター事業の推進(☆) (市民の相互扶助活動の推進) (再掲1-(1)-①)	こども福祉	H22～26	活動件数 2,520件 ・会員数 依頼(おねがい)会員 255人、提供(おまかせ)会員 94人、両方(どっちも)会員29人。合計378人。広報紙等で随時募っている。目標: 会員数300人(依頼、援助 共)
一時保育事業の推進	○一時保育事業 (再掲1-(1)-①、1-(3)-②)	こども福祉	H22～26	年間2,115人が利用した
☆12 病児・病後児保育事業(☆)	○病児・病後児保育事業(☆) (再掲1-(3)-②)	こども福祉	H22～26	病後児保育 12人
★3 子育て短期支援事業(★)	○ショートステイ事業(★) (再掲2-(3)-⑤)	こども福祉	H22～26	未実施
留守家庭児童会の充実	○留守家庭児童会 (再掲1-(3)-②)	社会教育	H22～26	ボランティア派遣事業を年81回実施。また、放課後子どもプランと留守家庭児童会が連携し事業実施できた。

◎ 展開する事業群(1-3-2)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(3)	仕事と子育ての両立支援
基本施策分野	②	多様で弾力的な保育サービスの充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
☆12 各種保育サービスの充実(☆)	○通常保育事業	こども福祉	H22～26	年間11,173人
	○延長保育事業	こども福祉		早朝延長保育は、1日あたり延べ、288人が利用した 夜間延長保育は、1日あたり延べ、277人が利用した
	○一時保育事業 (再掲1-(1)-①、1-(3)-①)	こども福祉		年間2,115人(のべ)
	○病児・病後児保育事業(☆) (再掲1-(3)-①)	こども福祉		病後児保育 12人
	○低年齢児保育(産休明け児童の保育)	こども福祉		年間16人
	○民間保育所運営助成	こども福祉		3つの民間保育園に年間50,352,144円の運営補助金を交付
☆13 保育所の計画的施設整備(☆)	○公立保育所の整備(河原保育所)	こども福祉	H22～26	園舎は21年度に完成 22年度は、園庭、来客用駐車場と園舎屋根の工事を行う
	○民間保育所の整備補助(☆)	こども福祉		松井ヶ丘保育園に移転整備工事に補助金(204,393,000円)を交付した
☆14 放課後児童対策の推進(☆)	○留守家庭児童会 (再掲1-(3)-①)	社会教育	H22～26	ボランティア派遣事業を年81回実施。また、放課後子どもプランと留守家庭児童会が連携し事業実施できた。
	○放課後子どもプラン(☆) (再掲2-(1)-⑥)	社会教育		年間実施日数 87日 野外活動センターと市内全9小学校で実施 子どもの参加延べ人数3677人
幼稚園における保護者支援	○幼稚園における預り保育 ・市立全園で実施	学校教育	H22～26	8園で延べ696日、3,294人が利用した。 1日平均4.73人

◎ 展開する事業群(1-3-3)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(3)	仕事と子育ての両立支援
基本施策分野	③	男女共同子育ての推進

★  
15

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
第2次京田辺市男女共同参画計画の策定と事業の推進(☆)	○第2次京田辺市男女共同参画計画の策定と事業の推進(☆)	市民参画	H22～26	・第2次京田辺市男女共同参画計画の策定(平成23年3月) ・第1次京田辺市男女共同参画計画の成果と課題の整理
	○各種広報、啓発、イベント、研修等の充実(再掲1-(2)-①)	市民参画		・ふれあい夢フェスタ 参加者400人 ・講演会(講師:京都大学大学院文学研究科教授伊藤公雄さん、「男女共同参画で、男女の元気、社会の活気を生み出そう」、110人参加)
	○学習機会の充実(再掲1-(2)-①)	市民参画		・女性交流支援ルーム情報ライブラリーでの図書貸出人数延べ144人
	○市民リーダーの養成(京都府女性の船への参加補助、市民活動の支援)	市民参画		・京都府女性の船参加者4人、参加補助金交付2人 ・市民活動推進補助金の交付 3件
	○女性の相談室(一般相談、専門相談、法律相談、女性の再就職・チャレンジ相談)(再掲2-(2)-③、2-(3)-②)	市民参画		・専門相談 毎月第1・3木曜日24回58件相談 ・出張相談 年7回、17件相談 ・一般相談 毎週月～金曜日 101件相談 ・法律相談 毎月第4水曜日12回、32件相談 ・再就職・チャレンジ相談及び母子家庭等自立支援相談 1回 チャレンジ相談2件、母子自立相談5件
	○男性相談(再掲2-(2)-③、2-(3)-②)	市民参画		・男性のための電話相談実施(6/1、10/5、2/3の3回、午後7時～9時) 相談件数2件
意識啓発の推進	○子育てセミナー ・父親の家庭教育の参加の集い(再掲1-(1)-④、1-(2)-①、2-(1)-①、3-(1)-①)	社会教育	H22～26	家庭教育子育てセミナー(中央市民大学公開講座)9月10日参加者44人 地域子育てセミナー(6小学校)7事業 参加者388人
	○パパママセミナー(再掲1-(1)-①、1-(1)-③、1-(2)-①)	こども福祉	H22～26	実人数 妊婦80人 夫 43人 のべ人数:妊婦180人 夫 48人 妊娠届数607(初産妊婦 266) 参加率:29.6%(48.2%)

◎ 展開する事業群(1-3-4)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(3)	仕事と子育ての両立支援
基本施策分野	④	事業所等への啓発等の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
事業所への啓発	○事業所への啓発の推進① ・母性保護についての啓発 ・父親の子育て参加等	社会福祉	H22～26	関係機関からの啓発パンフレットを窓口に置き、啓発推進に努めた。
	○事業所への啓発の推進② ・労働時間短縮等のリーフレット等による啓発	産業振興		商工会において実施